

2023 年度 第 1 回拡大職員会議「学童保育所の生活のなかでの安全」レポート

【クラブ】（ たけのこクラブ ）
【名 前】（ 野口湧太 ）

心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

今回の研修を受け、一番学んだことは視点が変われば自分が危険ではないと思った所でも危険が潜んでいる場所があるということです。

一枚の絵からどれだけ危険があるかを探す際にグループの中で話ただけでも、自分が感じたものとは別の意見がいくつも出てきました。

その後の全体での発表では、思いもしない意見もあり為になることがありました。

危険とは、予測もしないところから急に押し寄せてくる可能性があります。

自分の中で大丈夫だろうと決めつけず、もしかしたらや、何か起きるかもしれないなど、車の運転をしている時のように普段の生活の中でも気をつけ、子ども達の保育をしている際はさらに注意深く見ていきたいと思いました。

かといって、子どもがしていることというのは、何でも危なく見えてしまったりもしません。

何でもかんでも危ないからやめなさいと言ってしまうと、子ども達も伸び伸びと遊べなくなってしまいます。

普段からやっていて慣れてるから大丈夫だということもあたりですが、そこは信頼関係あつてのものになると思います。

6年生の子どもだから大丈夫、1年生だから危ない歳による危険性の違いも、勿論あるため、うまく折り合いをつけれるようになっていきたいと思いました。

※提出されたレポートは、当会のホームページや広報誌に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※×切は、12月3日（日）です。常勤専任指導員に手渡し、または、okazkaigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。